

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

彩の国東大宮メディカルセンターでは、当院の倫理・臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡ください。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意志であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。

研究課題名 (研究番号)	膵摘出患者における周術期インスリンプロトコルの有効性・安全性の検証および血糖管理・インスリン投与量に影響を与える因子の検討(No.66)
研究責任者 (所属)	佐々木 裕伸(糖尿病・代謝・内分泌内科)
研究実施期間	2025/3/12～2026/12/31
研究等の概要	<ul style="list-style-type: none">・研究の目的・方法：彩の国東大宮メディカルセンターで膵摘出術を受けた患者さんにおいて、従来の血糖管理方法（インスリン定時打ち・スライディングスケール法）と比較して、術後に実施する周術期インスリンプロトコルの有効性・安全性を検証する。加えて、患者データ（年齢・性別・原疾患・併存疾患・術式・採血結果など）をカルテ記録から抽出し多変量解析等を行うことで、術後の血糖値やインスリン投与量に影響を与える因子を検討する。・研究デザイン：介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究・研究対象者：彩の国東大宮メディカルセンターで膵摘出術を行った患者さん・調査期間：2018年10月1日～2024年12月31日・目標症例数：145症例 <p>研究等における医学倫理的配慮について</p> <p>(1) 研究等の対象とする個人の人権の擁護</p> <p>利用する情報から氏名や住所・電話番号等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除する。また、研究成果は学会等で発表を予定しているが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用せず、第三者に</p>

	<p>は判別できない形とする。</p> <p>(2) 被験者に理解を求め同意を得る方法 彩の国東大宮メディカルセンターのホームページにて、研究の目的・方法・デザイン・対象者・調査期間を明示した本研究に関する情報公開を行い、オプトアウト方式で同意を得る。</p> <p>(3) 研究等によって生ずる個人への不利益と利益または貢献度の予測 患者さんには侵襲や介入が生じておらず、患者さんから取得した検体・試料も用いていないことから、個人への不利益は生じないものとする。対して、上記研究課題が達成されることで、周術期インスリンプロトコルの改変を行えば、術後の血糖管理の成績が向上し、今後手術を受けられる患者さんの手術成績が向上することが期待される。</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
<p>問い合わせ窓口</p>	<p>倫理・臨床研究審査委員会 臨床研究事務局 電話：048-665-6111(代表)</p>